

「歴史民俗資料館を訪ねてーI」

軍司俊道

(北上川流域連携交流会 理事長)

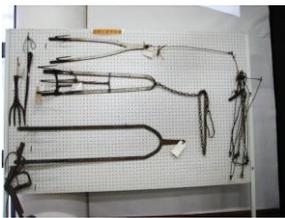
平成29年(2017)3月に発刊された盛岡地区かわまち勉強会による冊子「もりおか中津川サケ物語」ですが、その際にサケ漁が話題になり、色々と資料を探っていたところ、何と‘灯台下暗し’といいますが、御所湖畔にある雫石町歴史民俗資料館に雫石川でのサケ漁に用いた漁具が展示されていました。現在では雫石川でのサケ漁は幻になってしまいましたが、漁獲量も結構あったようです。アユ漁こそ全国的に雫石川が有名で、アユ解禁とともに多くの釣り人で賑わっています。釣りの合間に資料館に立ち寄って見ませんか。



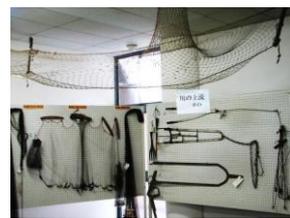
ヤス (鱒用)



サケ鉤



展示されている漁具



天上には待網が展示されている

県内の「道の駅めぐり」をしていると、民俗資料館が各地にあることに気がきます。たまには立ち寄ってみようかと思ったりもしますが、残念ながら足が向かないのが現状です。そこで提案ですが、川談義をご覧になった方に民俗資料館の紹介をしていただくと、大変ありがたいです。思わぬお宝に巡り合えそうな気がしますので、よろしく願いいたします。